



「脳卒中は十人十色。だからこそ、画一的な介入とはなりません。今回、臨床場面での当疾患の問題と具体的なアプローチのあり方について、実際の対象者動画を交えて説明させていただきます。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。宜しくお願いいたします。」

講師 **山本 伸一 先生**

山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 作業療法士
副部長 兼 作業療法科課長

日程 **令和4年3月6日(日)**

1部:9:30~11:00
2部:11:10~12:40

西野学園 札幌リハビリテーション専門学校 卒業生 参加無料

<R4.3.6 開催講演会感想>

今回、社会医療法人 加納岩 山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法士 副部長 兼 作業療法課課長を務めておられます、山本 伸一先生に講師としてオンラインでお迎えして「臨床に活かせる上肢機能アプローチ」というテーマで講演していただきました。

今回の講義では、脳卒中の臨床像をはじめとする上肢機能のアプローチや運動学・解剖学・神経学を基礎とした評価のポイントや具体的な治療方法を実際の介入場面の動画を用いてわかりやすく講義をしていただき、とても充実した講演でした。

脳卒中の患者様は多種多様であり、症状には個性があります。脳卒中になることで多くの患者様に感覚・知覚の異常やそれに伴い正常運動が行えない状態になります。本来は感覚・知覚の結果、正常な運動が行えることから、対象者がより感覚や知覚しやすい環境作りを療法士が提供することが重要となってきます。そのためにもどのようなポイントで患者様を評価していくべきか、段階付の具体的な進め方や、介入に用いる様々な物品やアクティビティを紹介していただきました。

今回の講演を通して、感覚・知覚を取り戻すうえで療法士の徒手療法はもちろんのこと、日常で使われる道具を用いて、感覚、知覚の訓練から運動へ繋げていくことが重要であると学びました。1年目で貴重な講演に参加させていただき、これからの臨床場面で大変参考になる講義でした。

17期 若山瑞城

<アンケート結果>

1.今回の講演会について

- ・貴重な時間でした。(複数回答)
- ・わかりやすく話してくださり、大変勉強になった。(複数回答)
- ・臨床に活かせる内容で明日から応用していきたいと思います。(複数回答)
- ・卒中の対象者だけでなく、運動器疾患の対象者にも使えそうな評価と治療を見ることで、大変参考になった。
- ・表題にある通り臨床に活かせるものばかりで大変勉強になった。実技の動画もあり臨床で実践してみたい。
- ・書籍では語り切れなかったであろう内容や細かなニュアンスが伝わってきた。
- ・コロナ禍で院内研修もままならない中、大変有意義な内容でした。本来は高額な研修会を無料で参加できるように調整していただき、ありがとうございます。
- ・自分が介入に悩んでいる利用者さんについての中身で答えが導き出せそうでとても勉強になりました。
- ・丁寧に触診場所などを話しており、とても分かりやすかったです。声も聴きやすく勉強になりました。

・また山本先生の講義があれば参加したいです。

2.同窓会の進行について (26 回答)

(はい 25・いいえ 1)

3.講演時間について (27 回答)

(適切 23・長い 2・短い 2)

4.講演会の案内について (28 回答)

(はい 25・いいえ 1・その他 2) ・細やかな案内が前日に届かなかった 1 ・見逃し配信希望 1

5. 講演会についてご意見がありましたら (10 回答)

- ・卒業生でないにも関わらず、聴講させていただき誠にありがとうございました。
- ・山本先生、同窓会役員の皆様、お忙しい中、貴重な機会を設けていただき誠にありがとうございました。
- ・詳細のメールが前日に来ましたが、受付完了時にいつまでにメールが届くかがわかるとよかったです。次回から改善していただけると助かります。
- ・コロナ禍で大変貴重な中、貴重な講演会を企画していただき誠にありがとうございました。
- ・今回の講習は非常に参考になり、ありがたかったです。機会があればぜひ参加したいので、お手伝いできることがあればご一報ください。
- ・同窓会 OB です。これからも頑張ってください。勉強会楽しみにしております。
- ・大変だと思いますが、今後とも運営よろしくをお願いします。
- ・見逃し配信希望 (複数回答)

<編集後記>

春の陽射しを感じるこの頃、ご健勝にお過ごしのことと存じます。

今回の講演会に参加して頂いた皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。またご講演を行って下さった山本先生、感謝申し上げます。「臨床に活かせる上肢機能アプローチ」というテーマでの講演は、すぐに臨床に活かせるなどの声もあり、とても有意義な機会になったのではないかと思います。

さて、次回の講演会につきましては講演内容を検討中です。内容が決まり次第、ホームページ、Facebook、LINE@、Instagram にて告知致します。次回の講演会も皆様のご参加をお待ちしています。

編集者：佐藤祐弥 神谷はづき

村山穂果 立花貴樹